

## 【事故概要】

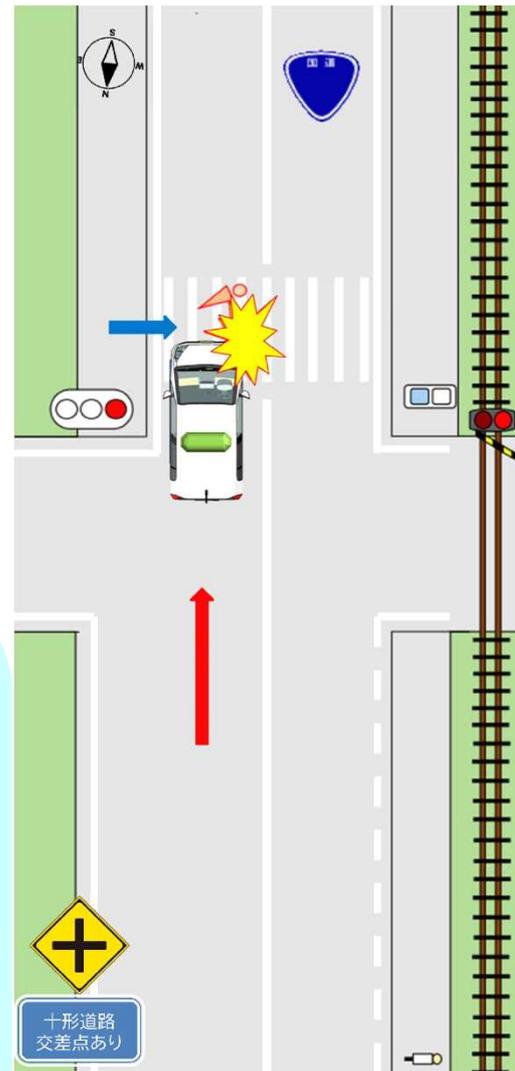
- 年月：令和5年12月
- 概要：日の出前の濃霧注意報が発表されるなか、タクシーが乗客1名を乗せて走行中、赤信号を見落としたため横断歩道上の歩行者の発見が遅れて、衝突事故が発生。  
この事故により歩行者が重傷を負った。

## 【原因】

- 運転者
  - ・ 視程は10m程度だったが、速度40km/h以上で走行していたため、信号機の表示及び歩行者の発見が遅れた。
- 事業者・運行管理者
  - ・ 社内で悪天候時に運行の可否を判断する規定を設けていなかった。
  - ・ 河川沿いで濃霧が発生しやすい地域であるものの、濃霧発生時のヒヤリハットを収集していなかった。

## 【再発防止策】

- 適切な運行管理、指導監督
  - ・ 運転者に対して、制動停止距離や悪天候時の安全速度について理解するよう指導を徹底すること。
  - ・ 悪天候等により運行に危険が生じるおそれがある場合に、運行の可否を判断する方針を策定し、それを運転者に指導すること。
  - ・ ヒヤリハット情報を収集し、運転者に対して、普段運行する主な道路及び交通の状況をあらかじめ把握させるよう指導すること。



悪天候時の運転方法を指導



ヒヤリ・ハット情報の共有化